

美濃加茂市

地震防災マップ

美濃加茂市は、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されています。そこで市民のみなさまに地震に対しての知識や日頃の備えをしていただくために「美濃加茂市地震防災マップ」を作成いたしました。



緊急時の連絡先

美濃加茂市役所 25-2111

警察
110
加茂警察署
25-0110

火事・救急
119
可茂消防事務組合中消防署
26-0190

災害時には正しい情報を

災害時には正確な情報収集を行って、混乱を招かないようにしましょう。

●NTT災害用伝言ダイヤル「171」

NTT災害用伝言ダイヤルは、地震、豪雨などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、一般電話がつながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。安否確認には「171」を活用しましょう。詳細は下記のNTT西日本のホームページをご覧ください。

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

●緊急地震速報

平成19年10月1日から、テレビ・ラジオなどによる放送を含め、広く国民への提供が開始されました。緊急地震速報を有効に活用し、身の安全を守るためには、情報を受けたときにどのように行動すれば良いかという「緊急地震速報の利用の心得」を理解することが重要です。

なお、緊急地震速報の仕組みや「緊急地震速報の利用の心得」などについては、下記アドレスの「気象庁ホームページ」を参照ください。

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

●美濃加茂市役所のホームページ

災害時の情報については、他に市役所のホームページでも知ることができます。下記アドレスから市役所のホームページをご覧ください。

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/>

地震防災関連ホームページ

地震調査研究推進本部 <http://www.jishin.go.jp/>

内閣府防災情報 <http://www.bousai.go.jp/>

岐阜県防災ホームページ <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11117/jisin/index.htm>

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>

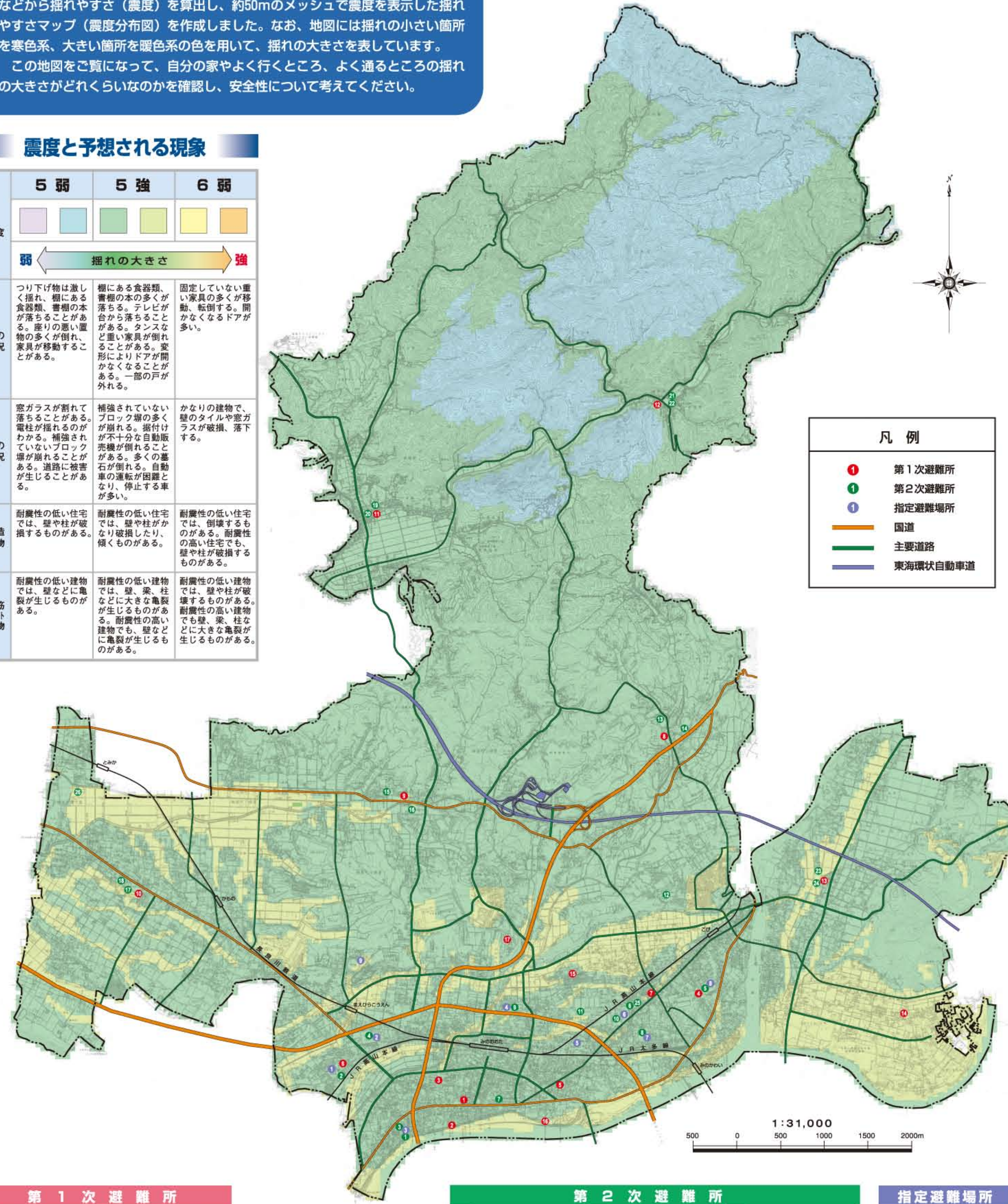
揺れやすさマップ

美濃加茂市に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を想定し、地形や地盤状況などから揺れやすさ（震度）を算出し、約50mのメッシュで震度を表示した揺れやすさマップ（震度分布図）を作成しました。なお、地図には揺れの小さい箇所を寒色系、大きい箇所を暖色系の色を用いて、揺れの大きさを表しています。この地図をご覧ください、自分の家やよく行くところ、よく通る場所の揺れの大きさがどれくらいなのかを確認し、安全性について考えてください。

震度と予想される現象

震度	5弱	5強	6弱
震度	弱	揺れの大きさ	強
屋内の状況	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが合から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなる。一部の戸が外れる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。間がなくなるドアが多い。
屋外の状況	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が倒れることがある。道路に被害が生じることがある。	補強されていないブロック塀の多くが倒れる。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
木造建築物	耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。	耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
鉄筋コンクリート建築物	耐震性の低い建物では、壁などに亀裂が生じるものがある。	耐震性の低い建物では、壁、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。耐震性の高い建物でも、壁などに亀裂が生じるものがある。	耐震性の低い建物では、壁や柱が破壊するものがある。耐震性の高い建物でも、梁、柱などに大きな亀裂が生じるものがある。

複合型東海地震 (東海地震・東南海地震が連動し発生した場合)



凡例

- ① 第1次避難所
- ② 第2次避難所
- ③ 指定避難場所
- 国道
- 主要道路
- 東海環状自動車道

第1次避難所

番号	名称	番号	名称
1	生涯学習センター	10	加茂野連絡所
2	太田交流センター	11	伊深連絡所
3	プラザちゅうたい	12	三和連絡所
4	上古井交流センター	13	下米田連絡所
5	下古井交流センター	14	牧野交流センター
6	西体育館	15	総合福祉会館
7	東図書館	16	文化会館
8	山之上連絡所	17	文化の森
9	蜂屋連絡所		

- 美濃加茂市では、第1次避難所と第2次避難所が指定されています。
- 避難の必要があるときは、まず第1次避難所を開設します。
- 大規模な災害のため第1次避難所では対応できないときは、第2次避難所を開設します。
- 避難所を開設したときは防災無線でお知らせします。
- 火災等の二次災害に備え避難場所が指定されています。

第2次避難所

番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	太田第1保育園	10	加茂高等学校	19	伊深小学校
2	太田第2保育園	11	加茂農林高等学校	20	伊深保育園
3	太田小学校	12	美濃加茂中学高等学校	21	三和小学校
4	西中学校	13	山之上小学校	22	三和保育園
5	東中学校	14	山之上保育園	23	下米田小学校
6	古井第1保育園	15	蜂屋小学校	24	下米田保育園
7	古井第2保育園	16	蜂屋保育園	25	カナリヤの家
8	古井小学校	17	加茂野小学校	26	あじさいエコパーク
9	山手小学校	18	加茂野保育園		

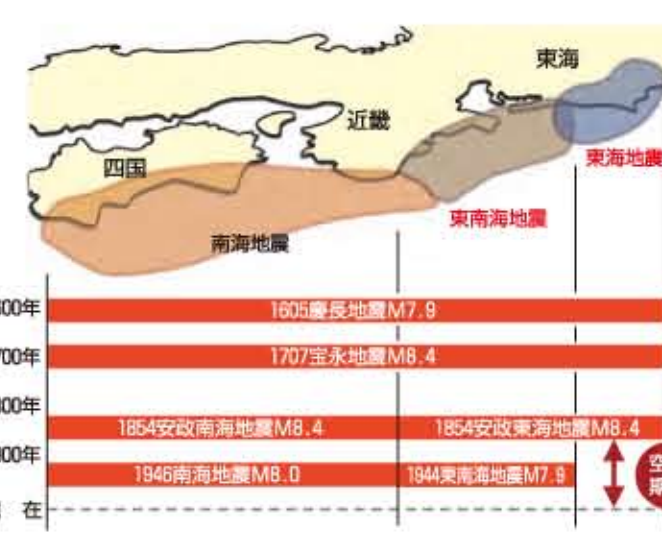
指定避難場所

番号	名称
1	西総合グラウンド
2	西中学校グラウンド
3	太田小学校グラウンド
4	山手小学校グラウンド
5	古井近隣公園
6	東総合グラウンド
7	古井小学校グラウンド
8	東中学校グラウンド
9	前平公園

地震について

海溝型地震

「海溝型地震」は、四国から東海にかけての海溝では、ほぼ100年から150年に一度、大規模な地震が繰り返して起こっています。1707年の宝永地震や1854年の安政東海地震、安政南海地震の際には、東海地震・東南海地震・南海地震の震源域で地震が発生し、岐阜県南部を中心に大きな被害が発生しました。



しかし、その後、1944年の東南海地震、1946年の南海地震の際には、東南海地震・南海地震の震源域で発生してならず、東海地震の震源域に関しては、前回の発生(1854年安政東海地震)以来、既に150年が経過しており、いつ東海地震が起きてもおかしくない状況とされています。

想定した地震

複合型東海地震(東海地震+東南海地震)
東海地震と東南海地震が同時に発生した場合を想定しています。地震の規模はマグニチュード8クラスです。

震度5弱から震度5強の揺れが予想されます。

活断層による地震

「活断層」とは、約200万年前から現在の間に活動した証拠があり、今後も繰り返し大地震を発生させる可能性があると考えられる断層のことです。岐阜県には、このような内陸での地震の原因となる活断層がわかっているだけで約100あり、全国でも最も活断層が密集している地域の一つとされています。



想定した地震

阿寺断層による地震
阿寺断層は、岐阜県下呂市から中津川市にかけて北西から南東方向に向かって直線状に延びる全長約70kmの断層です。この断層による地震として、マグニチュード7.8の地震を想定しています。

震度5弱から震度5強の揺れが予想されます。

マグニチュード

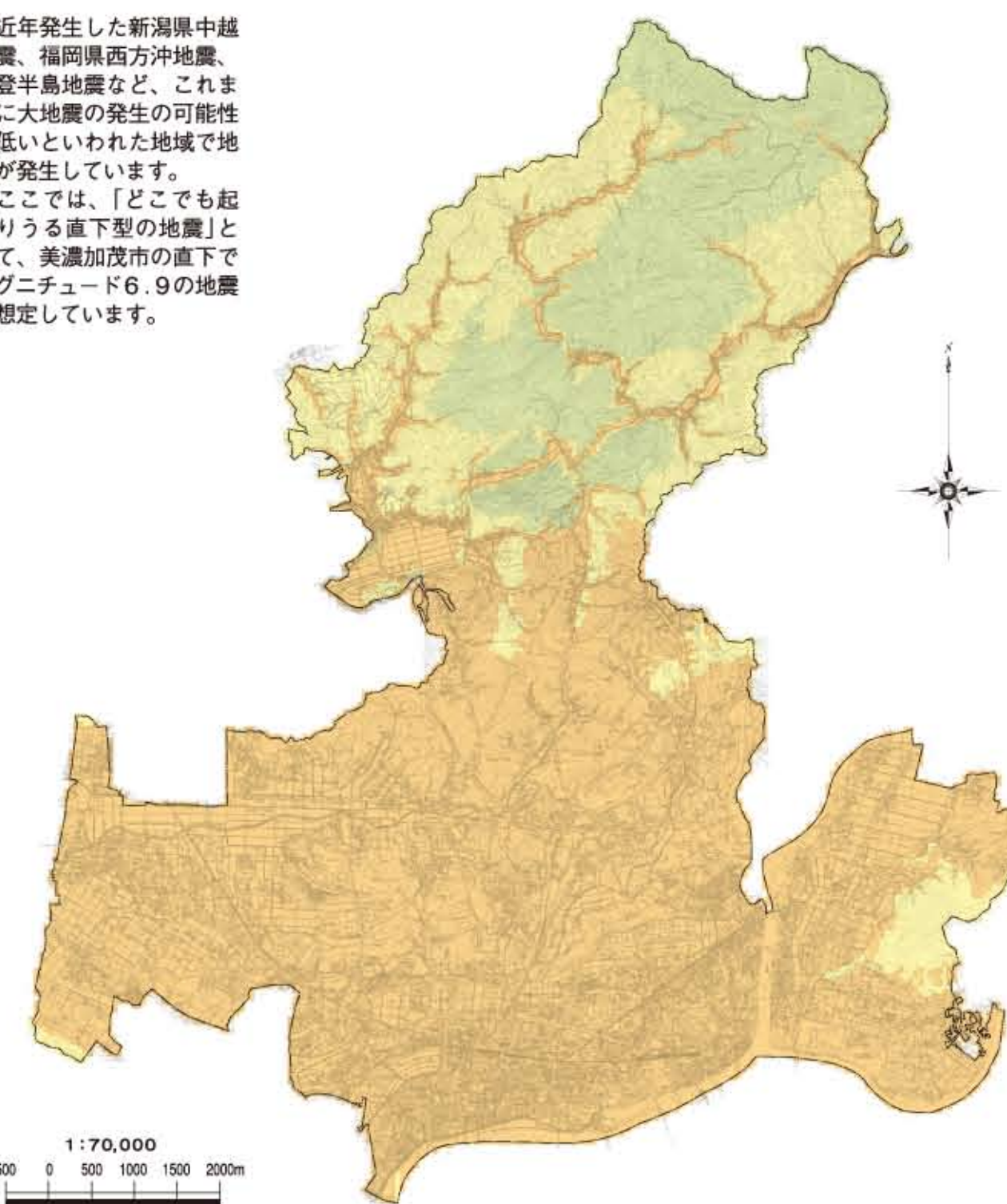
地震そのもののエネルギーの大きさを示します

震度

それぞれの場所での揺れの大きさを示します

どこでも起こりうる直下型の地震

近年発生した新潟県中越地震、福岡県西方沖地震、能登半島地震など、これまでに大地震の発生の可能性が低いといわれた地域で地震が発生しています。ここでは、「どこでも起こりうる直下型の地震」として、美濃加茂市の直下でマグニチュード6.9の地震を想定しています。



震度5強から震度6弱の強い揺れが予想されます。他の2地震と比較すると最も大きい揺れ(最大計測震度)が予想されます。